

# 気候変動のリスクと 予測研究の最前線

近年、台風や豪雨等による気象災害が各地で頻発しています。気候変動の進行により、今後はさらにそのリスクが高まると予測されていることから、気候変動を踏まえた防災・減災対策は喫緊の課題となっています。

本公開気象講座では、IPCC第6次評価報告書に関するポイント、気候変動の実態とその予測研究に関する最新の知見を紹介します。

**2024.1.21 日 13:00▶▶16:00 (12:30開場)**

名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール



イントロダクション～身近に感じる気候変動～

山田 修作 (進行役 メーテレ気象キャスター)



IPCC第6次評価報告書のポイントからみる  
気候変動のリスクと社会の大転換

江守 正多 (東京大学未来ビジョン研究センター教授/  
国立環境研究所上級主席研究員)



日本の気候変動とその予測の高度化

川瀬 宏明 (気象庁気象研究所 応用気象研究部 主任研究官)

対象 高校生以上

応募定員 200名

参加料 入館に観覧料が必要です。  
大人400円、大学・高校生200円 (要学生証)

申込方法 右記コードの応募フォームから申し込みいただけます。先着順です。

申込切 応募定員に達し次第

問合せ先 日本気象学会中部支部事務局 (eメール [chubu-admin@metsoc.jp](mailto:chubu-admin@metsoc.jp))

申し込みは下のアドレスまたはこちらから  
<https://forms.office.com/r/aiRHbbBWmr>



気象学会中部支部



主催

日本気象学会中部支部 名古屋市科学館 名古屋地方気象台

後援

地球ウォッチャーズ-気象友の会- 日本気象予報士会東海支部

<https://www.metsoc.jp/chubu/>